

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 24日

事業所名 サンクスラボ・アフタースクール那覇

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75.0%	25.0%	0.0%		実際の利用人数や活動内容によっては訓練室等のスペースが狭く感じることがあるので、スペースを有効活用できるよう配慮する。
	2	職員の配置数は適切である	25.0%	75.0%	0.0%	基準は常に満たしているが、宿題他丁寧に関わるには職員数が足りない場合がある。	配置基準より多い人数の職員を配置しているが、見守りや支援の必要性の高い児童が多く利用する日は、不足感がある日も出てくるため、人材確保を含めて継続的に実施していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0.0%	75.0%	25.0%	椅子・机などの安全ガードなどは付けているが段差などはある。	建物の構造上困難な部分もあるが、今後の可能な範囲でバリアフリー化に努めていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%	0.0%	整理整頓を心掛け実行されている。各職員がPDCAを行っている。	継続的に実施を図る。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50.0%	50.0%	0.0%	毎年、保護者評価を見て改善するように努めている。	業務改善のため、今後はアンケートの実施機会を増やし、保護者の意向を把握していくことも検討したい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	25.0%	75.0%	0.0%	事業所玄関にて公開しているが、HPでされていない	今後はホームページでの公開を検討する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25.0%	25.0%	50.0%	第三者との繋がりが無い	第三者による外部評価については現状行っていないため、今後の検討課題とする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	50.0%	50.0%	0.0%	必要に応じてオンライン講習会を受講している	外部や会社による社内研修プログラムの受講を推進している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	常に子どもの成長度を観察し話し合い、支援を適切に変更している。	アセスメントの頻度を上げて、利用者の状態や保護者のニーズの変化把握に務め、個別支援計画書作成に活かしていくことを検討する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	25.0%	75.0%	0.0%	アセスメントツールは使用するように改善したい。	今後の検討課題とする。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%	0.0%	常にミーティングで話し合っている。	今後も継続して実施する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75.0%	25.0%	0.0%	学習面など飽きないように各職員がアイデアを出し合い工夫している。プログラミングを学べるサイト等を適宜利用者に紹介するようにしている。	今後も継続して実施する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	75.0%	25.0%	0.0%	休校日と登校日の活動にメリハリをつけ、子ども達が楽しいと感じる体験を増やすように努めている。	今後も継続して実施する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	常に様子を観察し情報共有したうえで、計画書を作成している。	今後も継続して実施し、集団活動につながる活動も計画していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75.0%	25.0%	0.0%	毎朝ミーティングを行い、昨日の様子、本日の業務内容の確認、ヒヤリハットの共有を行っている。	今後も継続して実施する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	0.0%	当日の業務時間内または翌朝のミーティングで共有している。支援中のトラブルへの対応等を共有している	当日や翌日の児童受け入れ前の時間を活用し情報共有ができるよう今後も継続する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%	当日の業務時間内もしくは翌日に完了させている。	今後も継続して実施する。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	75.0%	25.0%	0.0%	相談員によりモニタリングが実施されない場合があるが、きちんと行うように促しをしている。モニタリング情報を職員で共有し、見直しを適宜行っている。	今後も継続して実施する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	50.0%	50.0%	0.0%	ガイドラインに沿うように努めている。	ガイドラインを改めて確認し今後の支援に反映させていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	0.0%	参画できている。	今後も継続して実施する。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	75.0%	25.0%	0.0%	学校側との申し送り情報共有は積極的に行っている。	今後も継続して実施する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	25.0%	50.0%	25.0%	連絡体制は取れているが、現在は医療ケアが必要な子がいない。	今後医療的ケアが必要な子どもを受け入れる際には関係機関との連絡体制を整えていく必要があるため、必要に応じ対策を検討する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0.0%	75.0%	25.0%	相談員を通しての共有が多い。	情報共有の方法について今後検討する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0.0%	100.0%	0.0%	昨年、1名就職1名就労支援所へ移行した際は提供を行った。こちら側から積極的に他事業所へ情報提供を行いたい。	今後実施を検討する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0.0%	100.0%	0.0%	専門機関との連携は取れていないが、講習会などは参加するようにしている。	今後、専門機関との連携するように努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0.0%	50.0%	50.0%	今後の課題として計画を行う。	保護者のニーズも汲み取ったうえで、今後の検討とする。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0.0%	75.0%	25.0%	協議会に参加しており、情報もラインで受けている。	今後、協議会への参加を推進していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	0.0%	送迎時及びラインメールにて、子の様子がわかるように写真なども添え伝え、共通理解できるようにしている。	今後も継続して実施する。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50.0%	50.0%	0.0%	保護者から相談を受けた場合にのみ、保護者の対応についてアドバイス等を行っている。今後は対応方法などの資料を新聞配布の際に添付するように計画している。	積極的な情報収集ができるよう体制等を検討する。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	契約の際に行われている。	今後も継続して実施する。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	75.0%	25.0%	0.0%	時間外になることも多い。丁寧に対応を行っている。日ごろからSNSで保護者とやり取りすることが多いため、悩みを聞き助言できる態勢が整えられている。	今後も継続して実施する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0.0%	25.0%	75.0%	保護者に打診した所、積極的な保護者が数名しかおらず、まだ実施していないが、年内には行いたい。	保護者のニーズも汲み取ったうえで、今後の検討とする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	0.0%	迅速に丁寧に対応するように努めている。	今後も継続して実施する。

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	75.0%	25.0%	0.0%	2か月に一回のペースで、新聞を発行し、活動の様子等の情報発信を行っている。	今後も継続して実施する。
	35	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%		今後も継続して実施する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	75.0%	25.0%	0.0%		今後も継続して実施する。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25.0%	50.0%	25.0%	庭の環境整備を行う際に近隣住民と顔を合わせるなど、地域にとけこめるよう工夫している。近所の方との関係性は非常によく取れている。招待する行事を年内に計画したい。	社会的情勢を判断しながら、実施を検討する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	25.0%	75.0%	0.0%	室内玄関等にマニュアルを掲示しているが、保護者への周知を年内行う。	今後はモニタリング等の機会を利用して説明を行っていくよう検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	75.0%	25.0%	0.0%	消防署と連携している。火災の際の避難方法、消火方法などを職員と利用者で確認を行っている。	今後も継続して実施する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	50.0%	50.0%	0.0%		今後、社内の報告体制の構築や外部の研修の受講などにより虐待防止対応を推進していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	50.0%	50.0%	0.0%		突発的に身体拘束の必要性が生じることも想定し、虐待防止対応を組織的に構築するとともに、社員向け研修を行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75.0%	25.0%	0.0%	以前は卵アレルギーの児童は卵なしのおやつをあげていたが、その児童が医師の診断によりアレルギー解除されたため、現在は他児童と同じ対応をしている。	今後も継続して実施する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	0.0%		今後も継続して実施する。